

2010年4月1日～2012年3月31日の間に 当科において統合失調症の治療を受けられた方へ

—「統合失調症に併発するうつ症状の予測因子、薬物治療と社会的転帰に与える影響」へ
ご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右
研究責任者 岡山大学病院 精神科神経科 講師 高木 学
研究分担者 岡山大学病院 精神科神経科 助教 岡久 祐子

1. 研究の概要

1) 研究の背景

統合失調症は、高頻度にうつ症状を伴うことが知られています。うつ症状は、場合によって自殺という悲しい結果につながる可能性もあるので、とても重要な症状であるにもかかわらず、治療法、予防、予後についての検討が十分とはいえない状態です。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この度私たちは、統合失調症患者さんの診療録（カルテ）を振り返ることによって、うつ症状があった方となかった方の治療や経過をふりかえって比較します。それによって、統合失調症患者さんの抑うつ症状の早期発見や治療を適切に行うことを目指し、今後の治療の手掛かりにしたいと考えています。最も適した治療の提供のため、本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力たまわりますようお願い申し上げます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年4月1日～2012年3月31日の間に岡山大学病院精神科神経科において統合失調症の治療を受けられた方542名を研究対象とします。

2) 研究期間

2019年9月13日～2022年3月31日

3) 研究方法

2010年4月1日～2012年3月31日の間に当院において統合失調症の治療を受けられた方542人を対象として、研究者が診療情報をもとにうつ症状の有無、性別、発症年齢、家族歴、就労、就学を含めた社会参加、入院歴、薬物療法について：向精神薬の使用歴、副作用の有無、用量、変更回数、有効性について調査、分析し、統合失調症患者さんにうつ症状の予防、治療法、予後について検討します。

4) 使用する試料

この研究では試料を用いません。

5) 使用する情報

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報 は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。使用させていただきます情報は、性別、発症時期、就労、就学を含めた社会参加、ご家族の精神疾患、症状の程度、お薬

の種類、効果、副作用、血液検査の結果です。

6) 試料・情報の保存、二次利用

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理審査委員会にて承認を得る。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、令和3年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 精神科神経科

氏名：高木 学

電話：086-235-7242（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7246